

千葉県地域日本語教育等の推進に ついて

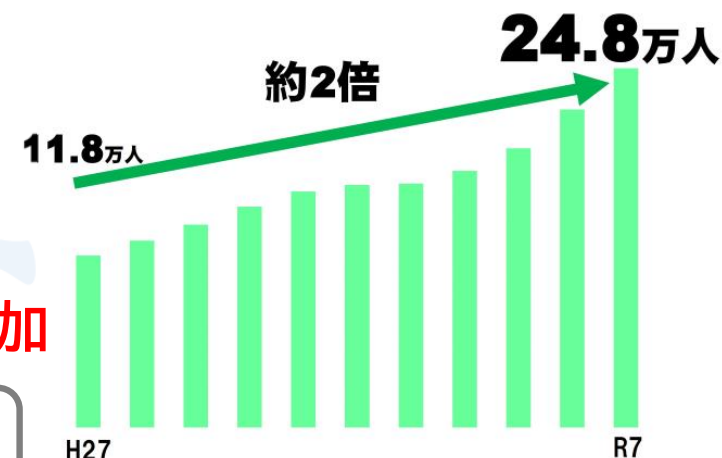
千葉県総合企画部国際課
多文化共生推進班

背景

●外国人人数

- ・令和7年6月末現在、県人口約628万人
うち外国人は**約24万8千人**(入管庁「在留外国人統計」)
- ・平成27年から令和7年までの10年間で**約2倍に増加**

【外国人人数の推移】



国における外国人材の受入拡大

外国人人数の増加

少子高齢化の進行

「多文化共生」社会づくりの必要性が高まる

千葉県外国人活躍・多文化共生推進プラン

● 概要

令和2年に「千葉県多文化共生推進プラン」を策定。

その後、多様性尊重条例の理念を踏まえ、

令和6年12月に「千葉県外国人活躍・多文化共生推進プラン」を策定。

【プランの基本目標】

誰もが活躍し、安心して暮らすことにより、
将来にわたり社会の活力を生み出せる県づくり

【施策目標】

① 施策目標Ⅰ：活躍

1人ひとりが様々な違いのある個人として尊重され、その人らしく活躍できる県づくり

- ・働き手としての活躍
- ・地域の担い手としての活躍



② 施策目標Ⅱ：共生

国籍及び文化的背景などにかかわらず、共に安心して暮らせる県づくり

- ・コミュニケーション支援
- ・子どもの教育環境の整備
- ・防災・防犯・交通安全対策の推進
- ・住宅・医療・保健・福祉の充実



③ 施策目標Ⅲ：連携

様々な主体の連携により、活躍・共生を推進する県づくり



千葉県地域日本語教育推進事業プラン

日本語教育について課題の整理と具体的な取組をまとめたもの

【基本的な目標】

- 1 日本語を母語としない全ての県民が、各自のニーズに応じた日本語教育を受けることができる環境の整備
- 2 地域の日本語教育に関わる県、市町村、千葉県国際交流センター・市町村国際交流協会、日本語教室、日本語教育機関、事業者、県民が連携・協働してそれぞれの役割を果たす体制づくり

【取組の柱】

- 1 地域日本語教育人材の育成・連携
- 2 学習者のニーズに応じた多様な学習機会の提供
- 3 地域日本語教育を総合的かつ効果的に推進する体制の構築と関係者の連携促進



令和7年度の取組

事業プランで示した取組の柱

- ①地域日本語教育人材の育成・連携
- ②学習者のニーズに応じた多様な学習機会の提供
- ③地域日本語教育を総合的かつ効果的に推進する体制の構築と関係者の連携促進

令和7年度の各取組

- 事業を管理する総括コーディネーターを設置
- 専門的知識・経験を持つ地域日本語教育コーディネーターを設置
- 日本語学習支援者の育成研修
基礎編（2期）、フォローアップ編（2回）
- 帯同家族等を対象とした基礎日本語教育の実施（令和7年度新規）
- 市町村が実施する事業への補助金
- 市町村、協会を中心としたヒアリング
- 地域日本語教育フォーラム